

県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

地球温暖化防止に 取り組む児童養護施設の 先駆けとして



社会福祉法人 あゆみ会

あゆみ学園（児童養護施設）

羽生市

太陽光発電設備等の設置日 2023年1月

Q 施設の概要を教えてください。

A 当施設は、1979年創立の児童養護施設です。社会の様々な理由により、保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられない子どもたちをケアし、退所に向けた相談支援や自立支援の為に援助を行っています。

現在、本園では3歳から高校生まで43名の子どもたちが生活しています。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 自然エネルギー導入の時代に入っていると感じており、再生可能エネルギーを活用した設備の普及が少しでも早まってくれば、という思いで、太陽光発電設備と蓄電池の導入を決めました。設備導入に当たって、補助金が活用できないか検討していたところ、県のホームページで県民あんしん共同太陽光発電事業を知り応募しました。



丑久保 恒行 理事長

Q 太陽光発電設備や蓄電池を設置することに対して、職員の反応はどうでしたか。

A こうした施設でも活用する時代になったんだな、という感覚だと思います。

中には、重い太陽光パネルを載せて施設の屋根は大丈夫か、とか、子どもたちが悪さをしないか、といった不安の声もありましたが、心配ないので、あまり意識せず、普通に施設を使うよう話をしています。

Q これから太陽光発電と蓄電池をどのように活用されていきますか。

A 太陽光で発電した電気は、まず蓄電池に蓄電します。蓄電池は常に蓄電された状態にしておき、災害時等に電気を使用できなくなったときに使用します。

日中は、太陽光で発電した電気を施設の運営に使用します。今までは、エネルギー価格の高騰もあり、子どもたちにも節電に協力してもらっていましたが、太陽光で発電した電気を使用するようになってからは、少しだけ節電から解放されました。

Q 設置を考えている施設の方へメッセージがあればお願いします。

A 地球環境にやさしい設備の整備は大事なことだと思っています。私たちが地域の中で姿勢を示すことで、太陽光発電設備が普及する時代に入ればいいと思います。

また、埼玉県内の児童養護施設では先駆けて設備を導入しました。ほかの施設でも導入が進むとよいと思っています。

設備導入には、県の補助金がしっかりと整備されています。設備費も年々安くなっていますので、これからどんどん普及が進んでいくのではないのでしょうか。

補助金の存在は大きいです。施設の予算の優先順位はトップの考え次第ですが、実際に行動することで、地球環境にやさしい社会になっていくのではないのでしょうか。



太陽光パネル（補助対象設備）



蓄電池（補助対象設備）